

国映画ア事第 436号
平成31年 1月24日

各都道府県教育委員会等文化行政主管課長 殿

独立行政法人国立美術館
国立映画アーカイブ館長
岡 島 尚 志

2019年度優秀映画鑑賞推進事業の実施について（照会）

国立映画アーカイブ(旧 東京国立近代美術館フィルムセンター)では、広く国民に優れた映画の鑑賞機会を提供するため、「優秀映画鑑賞推進事業実施要項」（添付資料1）に基づき、平成元年度から文化庁及び各公立文化施設（美術館・博物館を含む。）等と連携して定期的に公開上映を実施しており、2019年度も引き続いて実施を予定しています。

つきましては、下記に留意いただき、貴管下関係施設及び市町村教育委員会等に周知いただくとともに、別紙様式による実施希望を取りまとめて、平成31年3月15日（金）必着で回答くださるようお願いいたします。

なお、知事部局関係課に対しても連絡くださるようお願いいたします。

記

- 1 本事業の実施期間は、2019年7月8日（月）から2020年3月8日（日）までを予定しております。
- 2 本事業は、今後「2019年度優秀映画鑑賞推進事業進行表」（添付資料2）を基に進めます。
つきましては、本事業の実施細目、各様式及び添付資料を同封いたしますので、事業実施希望者にはあらためてこれらを送付の上、周知の方よろしくお願いいたします。
- 3 事業実施希望者には、《回答にあたっての留意事項》を参照していただくよう指示願います。
- 4 回答の送付は、「株式会社オーエムシー」宛にお願いいたします。
- 5 実施希望がない場合も、その旨文書で回答方お願いいたします。
- 6 本文書の添付資料
 - ・2019年度優秀映画鑑賞推進事業の実施について（回答）
 - ・《回答にあたっての留意事項》
 - ・添付資料1 優秀映画鑑賞推進事業実施要項
 - ・添付資料2 2019年度優秀映画鑑賞推進事業進行表
 - ・添付資料3 2019年度プログラムリスト
- 7 本件お問い合わせ先
 - 国立映画アーカイブ 総務課事業担当係
〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6 電話 03-3561-0823（代表）
 - 株式会社 オーエムシー 【回答送付先】
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-34-1 新宿御苑前アネックスビル8階
電話 03-5362-0120（フロアイン）

2019年度優秀映画鑑賞推進事業の実施について(回答)

担当機関名

職 名

氏 名

印

1 開催希望施設

施設名 _____

通称(あれば) _____

住所 〒 _____

会場ホームページ http:// _____

休館日(年末年始は記入不要) _____

フィルム搬出入ができない曜日 _____

会場座席数 _____ 席 人口規模 _____ 人

担当者勤務先・部署 (施設名と異なる場合) _____

担当者勤務先 TEL _____ 会場 TEL(左と異なる場合) _____

担当者勤務先 FAX _____ 担当者メールアドレス _____

担当者名・役職 _____

※ フィルム届け先と郵送物送り先が異なる場合は、別紙で連絡先等をお知らせください。

35ミリ映写設備の有無 35ミリ映写設備を有している 35ミリ映写設備のレンタルが可能である

(いずれかにレ印を付けてください。)

35ミリ映写機(設備がある場合) 機種名 _____ 設置年 _____ 年 _____ 月 _____

35ミリ映写機(レンタルする場合) 機種名 _____

2 プログラムの希望順位(A～Yの中から選択)

第1希望	第2希望	第3希望

3 開催月日の希望順位

	開催希望月日(2019年7月8日～2020年3月8日の範囲から最長5日間を選択)	期間
第1希望	年 月 日() ～ 年 月 日()	日間
第2希望	年 月 日() ～ 年 月 日()	日間
第3希望	年 月 日() ～ 年 月 日()	日間

4 「鑑賞の手引」(上映作品解説パンフレット)の希望部数 (上限 500 部) _____ 部

5 添付資料:会場図面

《回答にあたっての留意事項》

- ① 当事業が提供する映画フィルムはすべて35ミリ幅です。従って35ミリ用映写設備のない施設、及び35ミリ用映写設備のレンタルができない施設では、当事業は実施できません。
- ② 1の「休館日」欄及び「フィルム搬出入ができない曜日」欄は、当事業が採択された場合のフィルム搬送日程表作成にあたり必要ですので、必ず記入してください。なお、休館日が休日と重なった際に休館日が変更になる場合は、その旨を書き添えてください。
- ③ 1の「人口規模」欄は、当該実施希望施設の所在する市町村（東京都特別区及び政令指定都市にあつては、当該実施希望施設の所在する区）の人口数を記入してください。
- ④ 2「プログラムの希望順位」については、「添付資料3:2019年度プログラムリスト」より選択の上、第1希望から第3希望までのすべての欄を記号で記入してください。
- ⑤ 3「開催月日の希望順位」は、第1希望から第3希望までのすべての欄を記入してください。なお全国の会場を巡回するため、長期間の実施には応じられません。最長5日間の期間を選択してください。この期間は必ずしも実際の上映期間を意味するものではなく、フィルムを当該の実施希望施設に留置できる期間とご理解ください。ただし、搬送の都合上、5日間以上フィルムを留置していただかなくてはならない場合があることも、併せてご了承ください。
- ⑥ 2及び3は、他会場の実施希望日やフィルム搬送の日程上、第1希望に添えない場合があります。そのため、日程調整において公平を期すため、2及び3は必ず第3希望まで、異なるプログラム、異なる開催月日を記入してください。
- ⑦ 4「鑑賞の手引」は、当事業への来場者に配布することを目的に、国立映画アーカイブで作成し、事業実施施設に無償でお送りする解説パンフレットです。おおよその来場見込数をもとに、希望部数を記入してください。（500部以内）
- ⑧ 5「添付資料」として各実施会場の図面を必ず添付してください。
- ⑨ 公印（個人印は不可）を捺印の上、各都道府県担当者に提出してください。
- ⑩ 担当者の変更があった場合は、各都道府県担当者に「変更届」（様式自由）を提出してください。

優秀映画鑑賞推進事業実施要項

平成30年4月2日

館長 裁定

(趣旨)

第1条 広く国民に優れた映画の鑑賞の機会を提供するため、国立映画アーカイブ（以下「当館」という。）は、文化庁及び各地の公立文化施設等と協力して、所蔵する映画フィルムの公開上映を実施するものとする。

(名称)

第2条 この事業の名称は、優秀映画鑑賞推進事業とする。

(委員会)

第3条 当館は、この事業を実施するため優秀映画鑑賞推進事業実施委員会（以下「委員会」という。）を設け、映画フィルム及び会場となる公立文化施設等（以下「会場施設等」という。）について協議し、選定するものとする。

- 2 委員会は、映画製作関係者、映画興行関係者、映画関係者及び学識経験者等をもって構成するものとし、委員10人以内で組織する。
- 3 委員の任期は2年とし、その欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、再任されることができる。

(事業内容)

第4条 委員会において選定された会場施設等は、当館が委員会の協力を得て選定した映画フィルムのうちから、希望するものを公開上映する。

- 2 会場施設等は、事業を実施するに当たり、必要に応じて専門家による講演等を行うことができる。

(主催者等)

第5条 主催者は、文化庁、当館及び会場施設等とする。

- 2 会場施設等は、必要に応じて開催地の教育委員会、関係団体、新聞社、放送局等を主催者に加え、又は協賛者とすることができる（以下、この要項において「共同主催者等」という。）。
- 3 会場施設等は、事業の実施に当たり、当該開催地の共同主催者等や映画興行関係者等で構成される実行委員会を設け、円滑に事業を進めるものとする。

(事業・経費の分担)

第6条 この事業の実施に関し、映画フィルムの提供、鑑賞の手引きの作成及びこれらの輸送等は当館が分担し、それ以外は、原則、共同主催者等が分担する。

2 前項により共同主催者等が事業分担する主な経費は、次のとおりとする。

- 一 公開上映の実施会場の使用料
- 二 公開上映の実施会場の設営及び整理に要する経費
- 三 公開上映に関する広報にかかる経費
- 四 公開上映に関する講演等の謝金及び旅費
- 五 前条第3項の実行委員会の開催に要する経費

(施設の制限)

第7条 会場施設等は、35ミリ映写設備を有する施設その他これに準ずる適当な設備を有する施設とする。

(観覧料)

第8条 会場施設等は、成人1人500円の範囲内で観覧料を徴収するものとする。この場合において、徴収した観覧料は、会場施設等がこの事業の実施に必要とする経費の一部に充当するものとする。

(その他)

第9条 この要項に定めるもののほか、この事業の実施に関し必要な事項は館長が定める。

附 則

- 1 この要項は、平成30年4月2日から施行し、平成30年度事業から適用する。
- 2 この要項の施行日以降、最初の実施委員会委員に係る任期は第3条第3項の規定にかかわらず、平成31年3月31日までとする。
- 3 この要項の施行日以前に実施している事業等については、なお従前の例により取り扱うものとする。

2019年度優秀映画鑑賞推進事業 進行表 実施希望照会～事業の完了まで

添付資料2

NFAJ=国立映画アーカイブ

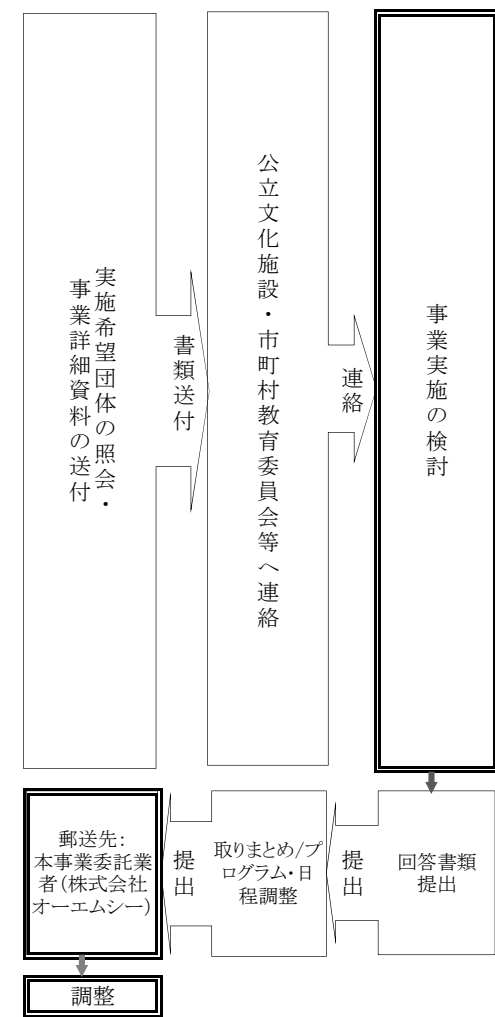
都道府県担当者=各都道府県担当課の本件事業担当者

主催団体担当者=公立文化施設等事業実施(希望)会場担当者

本事業委託業者=株式会社オーエムシー(2015～2018年度), 未定(2019年度)

1. 2019年度 2019年1月～3月…照会から内定に至るまで

時期	事業内容	NFAJ (文化庁)	都道府県 担当者	主催団体(会 場)担当者																																
① 2019年 1月～	<p>◎事業実施希望団体の照会(実施希望団体の募集開始～締切3月15日(金))</p> <p>(1) 照会文書の送付…2019年1月下旬 (NFAJ(文化庁)より)</p> <p>送付文書:</p> <table border="1"> <tr> <td>●2019年度優秀映画鑑賞推進事業の実施について(照会)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2019年度優秀映画鑑賞推進事業の実施について(回答)【実施希望記入用紙】 …3月15日(金)までに取りまとめて提出</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>添付資料1:優秀映画鑑賞推進事業実施要項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>添付資料2:2019年度優秀映画鑑賞推進事業 進行表</td> <td></td> </tr> <tr> <td>添付資料3:2019年度 プログラムリスト</td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 事業詳細資料の送付…2019年1月下旬 (NFAJより)</p> <p>送付文書:</p> <table border="1"> <tr> <td>●2019年度優秀映画鑑賞推進事業の実施に係る実施細目文書の送付について(依頼)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>添付資料1:優秀映画鑑賞推進事業実施細目</td> <td></td> </tr> <tr> <td>添付資料2:2019年度優秀映画鑑賞推進事業 進行表</td> <td></td> </tr> <tr> <td>添付資料3:2019年度プログラムリスト</td> <td></td> </tr> <tr> <td>添付資料4:フィルムの映写と取扱いに関する主催者へのごお願いについて(見本付き)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>添付資料5:全国興行生活衛生同業組合連合会会員名簿</td> <td></td> </tr> <tr> <td>添付資料6:広報媒体等への特別協賛名・ロゴの記載について【留意事項】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(様式1) 優秀映画鑑賞推進事業実行委員会規約(例)</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>(様式2) 優秀映画鑑賞推進事業実施確約書／(別紙) 優秀映画鑑賞推進事業遵守事項 …実施決定後、実行委員会規約・名簿と共に7月末までに提出</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>(様式3) 映画フィルム転送通知書…フィルム搬出後、ただちに送付</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>(様式4) 2019年度優秀映画鑑賞推進事業実施報告書／(別紙)…事業終了後、1ヶ月以内に提出</td> <td>5</td> </tr> </table>	●2019年度優秀映画鑑賞推進事業の実施について(照会)		2019年度優秀映画鑑賞推進事業の実施について(回答)【実施希望記入用紙】 …3月15日(金)までに取りまとめて提出	1	添付資料1:優秀映画鑑賞推進事業実施要項		添付資料2:2019年度優秀映画鑑賞推進事業 進行表		添付資料3:2019年度 プログラムリスト		●2019年度優秀映画鑑賞推進事業の実施に係る実施細目文書の送付について(依頼)		添付資料1:優秀映画鑑賞推進事業実施細目		添付資料2:2019年度優秀映画鑑賞推進事業 進行表		添付資料3:2019年度プログラムリスト		添付資料4:フィルムの映写と取扱いに関する主催者へのごお願いについて(見本付き)		添付資料5:全国興行生活衛生同業組合連合会会員名簿		添付資料6:広報媒体等への特別協賛名・ロゴの記載について【留意事項】		(様式1) 優秀映画鑑賞推進事業実行委員会規約(例)	2	(様式2) 優秀映画鑑賞推進事業実施確約書／(別紙) 優秀映画鑑賞推進事業遵守事項 …実施決定後、実行委員会規約・名簿と共に7月末までに提出	3	(様式3) 映画フィルム転送通知書…フィルム搬出後、ただちに送付	4	(様式4) 2019年度優秀映画鑑賞推進事業実施報告書／(別紙)…事業終了後、1ヶ月以内に提出	5		公立文化施設・市町村教育委員会等へ連絡	事業実施の検討
●2019年度優秀映画鑑賞推進事業の実施について(照会)																																				
2019年度優秀映画鑑賞推進事業の実施について(回答)【実施希望記入用紙】 …3月15日(金)までに取りまとめて提出	1																																			
添付資料1:優秀映画鑑賞推進事業実施要項																																				
添付資料2:2019年度優秀映画鑑賞推進事業 進行表																																				
添付資料3:2019年度 プログラムリスト																																				
●2019年度優秀映画鑑賞推進事業の実施に係る実施細目文書の送付について(依頼)																																				
添付資料1:優秀映画鑑賞推進事業実施細目																																				
添付資料2:2019年度優秀映画鑑賞推進事業 進行表																																				
添付資料3:2019年度プログラムリスト																																				
添付資料4:フィルムの映写と取扱いに関する主催者へのごお願いについて(見本付き)																																				
添付資料5:全国興行生活衛生同業組合連合会会員名簿																																				
添付資料6:広報媒体等への特別協賛名・ロゴの記載について【留意事項】																																				
(様式1) 優秀映画鑑賞推進事業実行委員会規約(例)	2																																			
(様式2) 優秀映画鑑賞推進事業実施確約書／(別紙) 優秀映画鑑賞推進事業遵守事項 …実施決定後、実行委員会規約・名簿と共に7月末までに提出	3																																			
(様式3) 映画フィルム転送通知書…フィルム搬出後、ただちに送付	4																																			
(様式4) 2019年度優秀映画鑑賞推進事業実施報告書／(別紙)…事業終了後、1ヶ月以内に提出	5																																			
② ～3月15日(金) (締切)	<p>◎実施希望についての回答提出</p> <p>提出書類:</p> <table border="1"> <tr> <td>2019年度優秀映画鑑賞推進事業の実施について(回答)【実施希望記入用紙】</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>※会場図面を添付</td> <td>★</td> </tr> </table>	2019年度優秀映画鑑賞推進事業の実施について(回答)【実施希望記入用紙】	1	※会場図面を添付	★		取りまとめ/プログラム・日程調整	回答書類提出																												
2019年度優秀映画鑑賞推進事業の実施について(回答)【実施希望記入用紙】	1																																			
※会場図面を添付	★																																			
3月	巡回スケジュールの調整	調整																																		



2. 2019年度 2019年4月～2020年3月・・・内定～決定～事業の実施～完了報告書の提出まで

時期	事業内容	NFAJ (文化庁)	都道府県 担当者	主催団体(会 場)担当者		
③ 4月～6月	◎内定通知から決定、事業のスタートまで					
4月初～中旬	内定通知 (Eメール、FAX等) 送付書類: 内定通知表書 2019年度優秀映画鑑賞推進事業の実施について(内定通知)	内定結果	通知	主催団体 へ連絡	通知	プログラム・ 日程確認
5月下旬～6月初旬	優秀映画鑑賞推進事業実施委員会の開催 ※NFAJで開催/内定内容の承認	委員会				
6月初旬～中旬	決定通知	決定通知		実施団体 へ連絡		プログラム・ 日程確定
6月	フィルム搬送表の送付 (FAX) 搬送表送付表書 2019年度優秀映画鑑賞推進事業搬送表、作品別梱包数	発送元: 本事業委託業 者(未定)	送付			実施確約書/ 実施委員会 規約の作成
	実施確約書、実行委員会規約及び名簿の提出 (～7月末締切) 提出書類: (様式1) 優秀映画鑑賞推進事業実行委員会規約・名簿 2 (様式2) 優秀映画鑑賞推進事業実施確約書/(別紙) 優秀映画鑑賞推進事業遵守事項 3 ※確約書提出時に広報用写真データ入手。	郵送先: 本事業委託 業者(未定)	提出			実施確約書/ 実施委員会 規約の提出
6月初旬～中旬	『鑑賞の手引』(解説パンフレット)完成～送付 ※宣伝用素材として使用可	手引送付	送付			来場者へ 配布
	「優秀映画鑑賞推進事業実施報告書」書式を各都道府県担当者に送付(データ送信)	送信元: 本事業委託 業者(未定)	送信	実施団体 へ 連絡		事業実施 報告書書 式の入手
④ 7月8日(月) ～3月8日(日)	◎事業の実施					
	【上映会準備】 広報印刷物(チラシ)の作成～完成次第10部提出(本事業委託業者(未定)へ)	送信先: 本事業委託 業者(未定)	FAX			フィルム転送 通知書の 提出
	【フィルム搬出後】 フィルム転送通知書の送信 提出書類: (様式3) 映画フィルム転送通知書 4	郵送先: 本事業委託 業者(未定)	提出			実施報告 書の提出
	【上映会終了後1ヶ月以内】 報告書の提出 提出書類: (様式4) 2019年度優秀映画鑑賞推進事業実施報告書 5 添付資料: チラシ等印刷物 ★					

2019 年度プログラムリスト (全 25 番組、100 作品)

A プログラム

日本映画を代表する溝口健二監督が、世界の映画祭で絶賛を博した時代ものを中心に代表作 4 本を紹介いたします。

浪華悲歌(1936 年・溝口健二・第一映画・72 分) 出演＝山田五十鈴、梅村蓉子、進藤英太郎
 西鶴一代女(1952 年・溝口健二・新東宝＝児井プロ・137 分) 出演＝田中絹代、三船敏郎、宇野重吉
 雨月物語(1953 年・溝口健二・大映・97 分) 出演＝京マチ子、田中絹代、森雅之
 山椒大夫(1954 年・溝口健二・大映・124 分) 出演＝田中絹代、香川京子、花柳喜章

B プログラム

男女の心のあやや生きることのはかなさを、冷徹な視線で描写し、確固たる作風を築いた成瀬巳喜男監督の戦後代表作を、遺作を含めて紹介いたします。

めし(1951 年・成瀬巳喜男・東宝・97 分) 出演＝上原謙、原節子、島崎雪子
 おかあさん(1952 年・成瀬巳喜男・新東宝・98 分) 出演＝田中絹代、香川京子、岡田英次
 流れる(1956 年・成瀬巳喜男・東宝・116 分) 出演＝田中絹代、山田五十鈴、高峰秀子、杉村春子
 乱れ雲(1967 年・成瀬巳喜男・東宝・108 分) 出演＝加山雄三、司葉子、森光子

C プログラム

近代日本の光と影を情感ゆたかなりアリズムで描いた今井正——その多彩な作品群から大ヒット作や社会派ドラマを紹介いたします。

青い山脈(1949 年・今井正・藤本プロ＝東宝・172 分) 出演＝原節子、杉葉子、池部良
 また逢う日まで(1950 年・今井正・東宝・109 分) 出演＝岡田英次、久我美子、滝沢修
 真昼の暗黒(1956 年・今井正・現代プロ・124 分) 出演＝草薙幸次郎、松山照夫、左幸子
 純愛物語(1957 年・今井正・東映・130 分) 出演＝江原真二郎、中原ひとみ、岡田英次

D プログラム

人間の善と悪、生と老、大胆な構成と躍動感あふれる演出で描き続け、世界中の映画人と観客を魅了した黒澤明監督の傑作を紹介いたします。

わが青春に悔いなし(1946 年・黒澤明・東宝・分) 出演＝原節子、藤田進、大河内伝次郎、杉村春子
 酔いどれ天使(1948 年・黒澤明・東宝・98 分) 出演＝志村喬、三船敏郎、木暮実千代
 羅生門[デジタル復元版](1950 年・黒澤明・大映・88 分) 出演＝三船敏郎、京マチ子、森雅之、志村喬
 天国と地獄(1963 年・黒澤明・東宝＝黒澤プロ・143 分) 出演＝三船敏郎、仲代達矢、香川京子、山崎努

E プログラム

叙情的な作風で多くの観客を魅了した木下恵介監督の作品から、戦後日本映画の代名詞とも言える珠玉の作品を紹介いたします。

カルメン故郷に帰る(1951 年・木下恵介・松竹・86 分) 出演＝高峰秀子、小林トシ子、佐田啓二
 二十四の瞳(1954 年・木下恵介・松竹・155 分) 出演＝高峰秀子、月丘夢路、田村高廣
 野菊の如き君なりき(1955 年・木下恵介・松竹・92 分) 出演＝有田紀子、田中晋二、田村高廣
 喜びも悲しみも幾年月(1957 年・木下恵介・松竹・159 分) 出演＝高峰秀子、佐田啓二、中村賀津雄

Fプログラム

才気あふれる作風で日本映画の刷新を試み続けた市川崑——小説の映画化として評価の高い作品に、国民的論議を巻き起こした記録映画を加えた4作品を紹介いたします。

野火(1959年・市川崑・大映・104分)出演＝船越英二、滝沢修、ミッキー・カーチス
ぼんち(1960年・市川崑・大映・104分)出演＝市川雷蔵、若尾文子、山田五十鈴
東京オリンピック(1965年・市川崑・東京オリンピック映画協会＝東宝・169分)記録映画
おはん(1984年・市川崑・東宝映画・112分)出演＝吉永小百合、大原麗子、石坂浩二、ミヤコ蝶々

Gプログラム

戦中派の屈折をスケールの大きい活劇に昇華させた異才・岡本喜八と、独自の映像美学で世界中に熱狂的なファンを生んだ鬼才・鈴木清順——二人の個性派監督の作品を紹介いたします。

けんかえれじい(1966年・鈴木清順・日活・86分)出演＝高橋英樹、浅野順子、川津祐介
東京流れ者(1966年・鈴木清順・日活・82分)出演＝渡哲也、松原智恵子、川地民夫
独立愚連隊(1959年・岡本喜八・東宝・108分)出演＝佐藤允、雪村いづみ、中丸忠雄
日本のいちばん長い日(1967年・岡本喜八・東宝・157分)出演＝三船敏郎、笠智衆、松本幸四郎

Hプログラム

1960年前後より登場した若き映画監督たち——人間の意志と情熱を大胆に描き出し、巨匠になってからも、その瑞々しい感性と獐猛なバイタリティで観客を魅了する作品群を紹介いたします。

秋津温泉(1962年・吉田喜重・松竹・112分)出演＝岡田茉莉子、長門裕之、山村聰、宇野重吉
少年(1969年・大島渚・創造社・97分)出演＝渡辺文雄、小山明子、阿部哲夫、木下剛志
心中天網島(1969年・篠田正浩・表現社＝ATG・103分)出演＝中村吉右衛門、岩下志麻、滝田裕介
復讐するは我にあり(1979年・今村昌平・松竹・140分)出演＝緒方拳、小川真由美、倍賞美津子

Iプログラム

1980年代以降、主に独立プロダクションを舞台に、日本映画の顔として活躍してきた監督たちの意欲作を紹介いたします。

遠雷(1981年・根岸吉太郎・につかつ撮影所他・135分)出演＝永島敏行、ジョニー大倉、石田えり
ロックよ、静かに流れよ(1988年・長崎俊一・東宝他・100分)出演＝岡本健一、高橋一也、前田耕陽
櫻の園(1990年・中原俊・ニューセンチュリープロデューサーズ＝サントリー・100分)
出演＝中島ひろ子、つみきみほ、白島靖代
お引越し(1993年・相米慎二・讀賣テレビ放送・124分)出演＝田畑智子、中井貴一、桜田淳子

Jプログラム

映画史を艶やかに彩ってきた監督と女優との宿命的な出会い——数ある名作、代表作から選んだ4作品を紹介いたします。

稲妻(1952年・成瀬巳喜男・大映・87分)出演＝高峰秀子、三浦光子、香川京子
にごりえ(1953年・今井正・文学座ほか・130分)出演＝丹阿弥谷津子、久我美子、淡島千景
伊豆の踊子(1963年・西河克己・日活・87分)出演＝吉永小百合、高橋秀樹、南田洋子、浪花千栄子
華岡青洲の妻(1967年・増村保造・大映・99分)出演＝若尾文子、高峰秀子、市川雷蔵

Kプログラム

山本富士子、岸恵子、佐久間良子、岩下志麻——今や大女優となった彼女たちの若き姿を、文芸ものや時代ものを通して紹介いたします。

夜の河(1956年・吉村公三郎・大映・104分)出演＝山本富士子、上原謙、川崎敬三
雪国(1957年・豊田四郎・東宝・133分)出演＝岸恵子、池部良、八千草薫、久保明
五番町夕霧楼(1963年・田坂具隆・東映・137分)出演＝佐久間良子、河原崎長一郎、木暮実千代
五瓣の椿(1964年・野村芳太郎・松竹・163分)出演＝岩下志麻、田村高広、伊藤雄之助

Lプログラム

山口百恵、松田聖子、原田知世、宮沢りえ——時代を彩るアイドルたちのみずみずしい魅力にあふれる作品を紹介いたします。

伊豆の踊子(1974年・西河克己・東宝・82分)出演＝山口百恵、三浦友和、中山仁
野菊の墓(1981年・澤井信一郎・東映・91分)出演＝松田聖子、桑原正、村井国男
時をかける少女(1983年・大林宣彦・角川春樹事務所・104分)
出演＝原田知世、尾美としのり、高柳良一
ぼくらの七日間戦争(1988年・菅原比呂志・角川書店・94分)出演＝宮沢りえ、五十嵐美穂、安孫子理香

Mプログラム

池部良、石原裕次郎、三船敏郎、勝新太郎、田宮二郎、——個性豊かな男優たちの魅力があふれる作品を紹介いたします。

暁の脱走(1950年・谷口千吉・新東宝・110分)出演＝池部良、山口淑子、小沢栄
嵐を呼ぶ男(1957年・井上梅次・日活・100分)出演＝石原裕次郎、北原三枝、芦川いづみ、金子信雄
隠し砦の三悪人(1958年・黒澤明・東宝・138分)出演＝三船敏郎、上原美佐、藤田進
悪名(1961年・田中徳三・大映・94分)出演＝勝新太郎、田宮二郎、中村玉緒

Nプログラム

市川雷蔵と中村錦之助——多くの映画ファンを魅了し一世を風靡した二大スターの作品を紹介いたします。

弁天小僧(1958年・伊藤大輔・大映・86分)出演＝市川雷蔵、青山京子、黒川弥太郎
眠狂四郎殺法帖(1963年・田中徳三・大映・81分)出演＝市川雷蔵、中村玉緒、若山富三郎
反逆児(1961年・伊藤大輔・東映・110分)出演＝中村錦之助、桜町弘子、月形龍之介
沓掛時次郎 遊侠一匹(1966年・加藤泰・東映・90分)出演＝中村錦之助、池内淳子、渥美清

Oプログラム

見るものを惹きつけて止まない異端のヒーローたち。シリーズ化やリメイクにより、時代を超越するアイコンとなった主人公を描く作品群を紹介いたします。

不知火検校(1960年・森一生・大映・91分)出演＝勝新太郎、中村玉緒、近藤美恵子
次郎長三国志(1963年・マキノ雅弘・東映・102分)出演＝鶴田浩二、松方弘樹、佐久間良子
網走番外地(1965年・石井輝男・東映・91分)出演＝高倉健、丹波哲郎、田中邦衛、嵐寛寿郎
人生劇場 飛車角と吉良常(1968年・内田吐夢・東映・109分)出演＝鶴田浩二、高倉健、辰巳柳太郎

Pプログラム

終戦直後の混乱のなかで、古き時代への悔恨と新しい時代に向けた希望を映し出した力作を紹介いたします。

戦争と平和(1947年・山本薩夫・亀井文夫・東宝・110分)出演＝伊豆肇、岸旗江、池部良
安城家の舞踏会(1947年・吉村公三郎・松竹・90分)出演＝原節子、滝沢修、森雅之
蜂の巣の子供たち(1948年・清水宏・蜂の巣映画部・84分)出演＝島村俊作、夏木雅子、後庄正一
帰郷(1950年・大庭秀雄・松竹・104分)出演＝佐分利信、木暮実千代、津島恵子

Qプログラム

戦後の混乱を乗り越え、復興の時を迎えた日本に生きる様々な家族や夫婦の姿を描いた作品を紹介いたします。

煙突の見える場所(1953年・五所平之助・新東宝＝スタジオ8プロ・108分)
出演＝田中絹代、上原謙、高峰秀子
この広い空のどこかに(1954年・小林正樹・松竹・109分)出演＝高峰秀子、佐田啓二、久我美子
名もなく貧しく美しく(1961年・松山善三・東宝・128分)出演＝高峰秀子、小林桂樹、島津雅彦
裸の島(1960年・新藤兼人・近代映画協会・96分)出演＝乙羽信子、殿山泰司、田中伸二

Rプログラム

阪妻、長谷川一夫、右太衛門、千恵蔵——定番時代劇の醍醐味を存分に発揮したスター競演の作品を紹介いたします。

大江戸五人男(1951年・伊藤大輔・松竹・132分)出演＝阪東妻三郎、市川右太衛門、山田五十鈴
銭形平次捕物控 からくり屋敷(1953年・森一生・大映・86分)
出演＝長谷川一夫、アチャコ、三浦光子、入江たか子
旗本退屈男(1958年・松田定次・東映・108分)出演＝市川右太衛門、桜町弘子、片岡千恵蔵
赤穂浪士(1961年・松田定次・東映・150分)出演＝片岡千恵蔵、大川橋蔵、市川右太衛門

Sプログラム

風俗喜劇に重喜劇、人気シリーズにユーモアあふれるコメディ——森繁久弥出演の2作品を含め、さまざまな笑いで見ると楽しむべき喜劇映画の代表作を紹介いたします。

本日休診(1952年・渋谷実・松竹・97分)出演＝柳永二郎、淡島千景、三国連太郎
駅前旅館(1958年・豊田四郎・東京映画・109分)出演＝森繁久弥、伴淳三郎、フランキー堺
喜劇・女は男のふるさとヨ(1971年・森崎東・松竹・90分)出演＝森繁久弥、中村メイコ、倍賞美津子
大誘拐 RAINBOW KIDS(1991年・岡本喜八監督・喜八プロ＝ニチメン＝フジエイト・120分)
出演＝北林谷栄、緒形拳、風間トオル

Tプログラム

日本映画の量産時代に登場した監督たちが、喜劇映画のなかで新たな挑戦を試みた秀作を紹介いたします。

おかしな奴(1963年・沢島忠・東映・110分)出演＝渥美清、三田佳子、南田洋子
喜劇 急行列車(1967年・瀬川昌治・東映・90分)出演＝渥美清、佐久間良子、西村晃、小沢昭一
吹けば飛ぶよな男だが(1968年・山田洋次・松竹・91分)出演＝なべおさみ、緑魔子、犬塚弘
あゝ軍歌(1970年・前田陽一・松竹・88分)出演＝フランキー堺、財津一郎、倍賞千恵子

Uプログラム

軽やかなリズムと華やかな色彩にのせて、歌と笑いと夢にあふれた音楽・歌謡映画の決定版を紹介いたします。

エノケンの頑張り戦術(1939年・中川信夫・東宝・74分)出演＝榎本健一、如月寛多、柳田貞一
ジャンケン娘(1955年・杉江敏男・東宝・92分)出演＝美空ひばり、江利チエミ、雪村いづみ
大学の若大将(1961年・杉江敏男・東宝・82分)出演＝加山雄三、星由里子、田中邦衛
君も出世ができる(1964年・須川栄三・東宝・100分)出演＝フランキー堺、高島忠夫、雪村いづみ

Vプログラム

純情と獷猛さが入り混じった青春の一瞬を、気鋭の監督たちが鮮やかに捉えた青春映画、恋愛映画の秀作を紹介いたします。

めぐりあい(1968年・恩地日出夫・東宝・91分)出演＝酒井和歌子、黒沢年男、田村亮
八月の濡れた砂(1971年・藤田敏八・日活・91分)出演＝村野武範、広瀬昌助、テレサ野田
約束(1972年・斎藤耕一・斎藤耕一プロダクション・88分)出演＝萩原健一、岸恵子、三国連太郎
忍ぶ川(1972年・熊井啓・俳優座映画放送・120分)出演＝加藤剛、栗原小巻、永田靖、信欽三

Wプログラム

松本清張、山崎豊子による社会派ミステリー小説を原作に、名匠たちが丹精こめて作り上げた力作を紹介いたします。

張込み(1958年・野村芳太郎・松竹・116分)出演＝宮口精二、菅井きん、大木実
悪い奴ほどよく眠る(1960年・黒澤明・東宝＝黒澤プロ・151分)出演＝三船敏郎、森雅之、香川京子
黒い画集 あるサラリーマンの証言(1960年・堀川弘通・東宝・95分)出演＝小林桂樹、原千佐子、平田明彦
白い巨塔(1966年・山本薩夫・大映・150分)出演＝田宮二郎、東野英治郎、藤村志保

Xプログラム

時代を超えて読み継がれる児童文学の名作や人気漫画を、豊かな情感と奔放な想像力で映画化した4作品を紹介いたします。

あすなろ物語(1955年・堀川弘通・東宝・108分)出演＝久保明、岡田茉莉子、根岸明美
次郎物語(1987年・森川時久・キネマ東京・110分)出演＝加藤剛、高橋恵子、伊勢将人、樋口剛嗣
風の又三郎 ガラスのマント(1989年・伊藤俊也・日本ヘラルド映画・107分)出演＝早瀬美里、小林悠、草刈正雄
少年時代(1990年・篠田正浩・「少年時代」製作委員会・117分)出演＝岩下志麻、細川俊之、藤田哲也

Yプログラム

今や日本文化の顔となったアニメーション映画。日本アニメの歴史を画した劇場用長篇映画の代表作を紹介いたします。

西遊記(1960年・藪下泰司、手塚治虫・東映動画・88分)
声の出演＝小宮山清、新道乃里子、木下秀雄
太陽の王子 ホルスの大冒険(1968年・高畑勲・東映動画・82分)
声の出演＝大方斐沙子、平幹二郎、市原悦子
長靴をはいた猫(1969年・矢吹公郎・東映動画・80分)声の出演＝石川進、藤田淑子、榊原ルミ
銀河鉄道の夜(1985年・杉井ギサブロー・朝日新聞社＝テレビ朝日＝日本ヘラルド映画グループ・107分)
声の出演＝田中真弓、坂本千夏、常田富士男